

インフォシスと SAP が協業、「サービスとしての業務プロセス変革」 (BPTaaS) を企業に提供

バンガロール (インド) - 2021 年 9 月 15 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE: INFY) は、本日、サービスとしての業務プロセス変革 (Business Process Transformation-as-a-Service: BPTaaS) の企業向け提供を目指し、エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア市場をリードする [SAP](#) との戦略的協業を発表しました。

今回の協業を通じて、インフォシスは顧客の変革の過程において、機会と障害の特定やロードマップの作成に SAP の業務プロセスインテリジェンス (BPI) を活用します。インフォシスの BPTaaS は、[RISE with SAP](#) サービスを拡張して、複雑度を低減、利益獲得までの時間を短縮、価値実現を高速化し、カスタマー体験の再考にあたり顧客を支援します。これらはすべて、[Infosys Cobalt](#) の提供サービスであるインフォシスの業界別クラウドソリューションのポートフォリオを活用して実施します。

インフォシスは [SAPPHIRE NOW 2021](#) の期間中に、BPI のパートナー 3 社のうちの 1 社として発表されました。今回の協業の一環として、インフォシスは BPI をプロセス変革サービスの中心に据え、実績あるアクセラレーターと手法、および [Live Enterprise Suite](#) の革新的なユースケースを活用して、顧客が持つプロセス変革の要件に適合していきます。

BPTaaS により、企業は自社の変革の最中に行われる詳細な分析のメリットを得られ、また業界の競合他社とのベンチマークを実施して改善の可能性がある領域を特定できます。また、オペレーションの可視性を高め、プロセスの逸脱を特定し遅滞なく是正措置を開始できることで、プロセス・ガバナンスの向上を図れます。企業は BPTaaS を選び、それによって、プロセスの有効性を継続的かつ増分的に改善できる専門家にプロセス変革をアウトソーシングし、コストを削減し、またこれまでにない価値の増大をステークホルダーに提供することで、これを達成できます。

インフォシスのエグゼクティブ・バイス・プレジデント兼エンタープライズ・アプリケーション・サービス担当グローバル責任者の **Dinesh Rao** は次のように述べています。「当社がクラウド化を進める中で、BPI は企業の変革ジャーニーの不可欠な構成要素になっています。当社は SAP との協業によりクラス最高のサービスをお客様に提供し、お客様のプロセス効率の強化を実現できることを喜ばしく思います。当社の Cobalt ポートフォリオの

活用により、企業の変革ジャーニーの障壁となる非効率な業務プロセスが改善されることを心待ちにしています。当社が持つ SAP との強力な関係性を踏まえ、引き続き価値と革新的なソリューションをお客様に提供してまいります。」

SAP の業務プロセスインテリジェンス担当ゼネラルマネージャーの Rouven Morato 氏は、次のようにコメントしています。「BPI の価値は IT の範疇を越えて、事業の運営方法に実際的な影響を及ぼしています。当社とインフォシスの専門知識が融合することで、企業によるデジタル化の過程が加速し、また事業のグローバルなスケーリングが実現されるでしょう。」

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 개국でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2020 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。



当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

マーケティング本部 安藤 09010450448

Mail: jo_ando@infosys.com